

友 和

NO.580

発行日 令和 7 年 8 月 1 日

発行 社会福祉法人 友和の里
〒 738-0203

広島県廿日市市友田 218-38

TEL0829-74-2157 FAX0829-74-2154

HP : <http://yuwanosato.com/>

発行者 常務理事 中村 真和

ステージ発表にむけて作った応援幕
障子紙に思い思いに好きに描いて
ステージを盛り上げました。



写真は、はつかいち福祉ネット全体会ステージ発表の様子。
グループホームゆうわのみなで「津軽海峡冬景色」と「そ
れいけカープ」を歌っているところ。ステージ衣装の小関
さん以外はお揃いの赤い服でステージへ。詳細は次項にも
掲載しています。

参加した武永浩徳さんに出演後感想をききました。
「正直、会場に行ったらびっくりした。
大人数に緊張した。みんなで作ったステージになった。
ひとつのことに向かえたのはいいなあと思う。
また出てみたい」と教えてくれました。



はつかいち福祉ねっと ステージ発表に参加して



7/4 山崎本社みんなのあいプラザで行われた、はつかいち福祉ねっと主催のステージ発表にグループホームの皆さんと参加させて頂きました。

参加の経緯は職員が福祉ネットのステージ募集を知ったことが始まりです。コロナ前は機会がたくさんあったけれど、コロナ後は発表の場が少なくなっていました。グループホームで暮らす小関孝一^{こせきこういち}さんは歌を歌いたいという願いを持っていました。その後、相談をして応募することになりました。受付のきらりあから参加 OK をもらって、それから発表に向けて練習をしていきました。練習中、グループホームのみなさん7名を出来るだけ巻き込んで準備をしました。みんなで歌に合わせて横断幕や小道具をつくったり、昼休憩はとにかく YouTube を流しながら、声をだす、曲に合わせてカラダを動かすなど発表に向けて一緒に雰囲気や意識づくりをしていきました。

当日はまず、あいプラザ内にあるコーヒーショップあんずでジュースを飲み、少しリラックスした後で会場入りをしました。会場には100人以上の関係者の方がいました。参加メンバーの中には人混みが苦手な利用者さんもいて、対策としてステージが始まる前から会場に入り、徐々に慣れてもらえるよう配慮をしました。すると、はじめは不安そうな様子で声が出ていたメンバーも、すぐそばで慣れた親しんだ職員が「大丈夫だよ」などと声を掛け続け寄り添ってもらうことでステージに上がることができました。そしていざステージに立つと、会場の参加者に手拍子を求めるなどナイスな場の雰囲気を作ってくれました。メインボーカルとなった小関さんと武永浩徳^{たけながひろのり}さんお二人は、自己紹介を含め大役を果たしてくれました。そして7名のみなさん全員堂々とした様子でステージ出演を果たすことができました。

今回、ステージ上で作成した横断幕を持ってもらったり、ジェットバルーンが間に合わなくて膨らませてもらったり、多くの方に手伝ってもらってステージ発表することが出来ました。きらりあのスタッフの方には本当にお世話になりました。ありがとうございました。
(部長 川久保 貴子)

【会場の声】 アンケートから頂いた一部をご紹介します

- ・ご利用者さんの気持ちを職員の方が細かくキャッチして、きっと今回だけでなくグループホーム内でもたくさんの楽しい活動をされているんだろうなと思いました。
- ・好きな事を人前で行う場があるのは活力にもなるので、良いなと感じました。
- ・吃音がある方がスラスラ歌詞が出るのがすごいと思った。歌の力ってすごい！
- ・発表、特に歌われていた方の笑顔、いい声にいやされました。
- ・出演の経緯が説明されたあとで、発表された2曲がとても心地よく聞けました。歌う機会（発表）が増える以前のような世の中になるといいなと思いました。
- ・一人一人がいきいきとされ、ステージ発表から個性豊かな一体感が伝わってきた。友和海峡の絵も素晴らしかった。

津軽海峡冬景色の歌のステージを飾った作品→
「友和海峡」と文字が添えてありました





常務理事 なかむらまさかず
中村真和さん

私はこれまで23年間、市社会福祉協議会に勤務し、主に成年後見制度や日常生活自立支援事業「かけはし」の相談員として、高齢者や障がいのある人の権利擁護支援に携わってきました。今年4月に独立し、超高齢社会を迎えた2025年、福祉人材の不足という課題を解決するため、福祉人材の職場への定着と成長を後押しする事業を始めました。またこの度、地御前から故郷である津田に22年ぶりに帰ってきました。友和の里には大きなご恩と深いご縁があり、6月から常務理事を務めさせていただく事となりました。

微力ではありますが、皆さまとともに、友和の里に関わる全ての人のしあわせづくりに力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



事務員 たけうちまなみ
竹内麻奈美さん

事務所で働き始めた竹内麻奈美と申します。製造業の仕事から転職してきました。障害のある甥っ子がいて、日々学ばせて頂いております。職員の方の利用者さんへの愛情深い対応の仕方など、細やかな支援が素敵だと思っております。精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。食べるのが大好きです。

3人の子供のお母さんでもある竹内さん、大の甘味好き。天草からつくる寒天が得意だそうです。

職員突撃インタビュー

今月は入職4年目の平田譲一さんに聞きました。

▷資格をとられたんですね。

今年、介護福祉士の資格を取得。仕事に活かしたいと思い勉強をはじめ、毎日少しずつ取り組みました。グリーフケアなど、今後の支援に活かせる知識を得ることが出来ました。

▷平田さんの大好きな筋トレについて教えてください。

自分を高めてくれます。友人勧めで始め、その後筋トレにはまりました。食べ物にも気をつけるようになって丁寧に摂取するようになりました。すると自分に余裕が出来ました。心の余裕もうまれて、アンガーマネジメントにも繋がっていると思います。憂鬱な時こそカラダを動かそうと思います。毎日の積み重ねが楽しいです。筋トレは単にカラダを鍛えるだけでなく、メンタルも強くしてくれます。



入所部生活支援員
平田さん

▷仕事について

入職したばかりの頃はいろいろ失敗もあって、近頃、保護者の方に「変わってきたね」と声をかけて頂いたことが嬉しかったです。喜んでくれる人がいると思うと励みになります。支援中に何かしらトラブルがあったら、すぐ誰かに応援を頼んだり、離れてみたり、チームワークを活かして仕事をするようにしています。

※グリーフケア 喪失体験をした人のケアサポートのこと



とうげいはん 陶芸班 今月から干支の色付けを始めました。職員がかくはん機で釉薬を混ぜていると、村岡詳平さんが興味津々で近づいてこれ「やってみたい」とのことでした。初めての体験で少し緊張されていましたが、うまく混ざっていることをお伝えすると満足そうな様子をされていました。
(生活支援員 朝川 泰貴)

そうさくはん 創作班 寺尾昌敏さんは、ウエス作業の中でも難易度が高い、ウエスをたたむ作業を行われています。皆さんがシートを裂いてくれたり、糸を取ってくれたウエスを寺尾さんが一枚一枚しっかりと角を揃えて丁寧にあたたまれます。毎月、安定した納品ができるのは寺尾さんの力といっても過言ではありません。そして、作業後の水分補給では「美味しい」と良い仕事をされた後の表情をみせてくれます。今回はウエス納品の立役者、寺尾昌敏さんをご紹介します！（主任生活支援員 山田 憲志）

かいとおはん 貝通し班 貝通し班は、作業の間に午前午後一回ずつ水分補給をしながら貝通し作業に取り組んでいます。今後も空調管理や水分補給など熱中症対策をしっかりと取り、無理なく日中活動を行っていきます。
(生活支援員 冠 茜)

りょういくはん 療育班 療育班では、竹を使ったウォーキングを始めました。両手が机に伝うように机を動かし、その間の床に半分に割った竹を置き、靴を脱いで竹を踏みしめながら歩くという、昔ながらの青竹踏みです。程よい足の刺激を踏みしめつつ、皆さん歩き続けています。
(生活支援員 濱田 吉弘)

廿日市市社会福祉協議会主催
令和7年度福祉施設職員相互研修

ようこそ
ようこそ
友和の
里へ

7/11 くさのみ作業所から川本晴美さん、三村洋子さん2名が入所部へ研修に来られました。一日を振り返りながら行われた研修後の意見交換では、お二人から支援書が大変参考になったことや、誰にでも支援ができるように手順書があり、文章化されていて必要性を感じたという話題がでました。また友和の里からはくさのみ作業所でのモニタリングのやり方や支援記録の取り方など2名の方へ質問が投げかけられ、大変有意義な意見交換の場になりました。



社会福祉法人 友和の里

をご紹介します

訪問歯科

今回は訪問歯科についてご紹介します。

現在、友和の里入所部では月1回、ナタリーデンタルクリニックによる訪問歯科診療を25名の利用者さんが受診しています。訪問歯科を利用し始めて約5年が経ち、利用者さんに合わせた口腔ケアを医師や歯科衛生士さんに実施してもらっています。診療中は、いろいろな工夫があり、例えば声掛けするのも「〇〇さん、今日は長く口を開けられましたね!」や「何度か立ち上がる事がありました、最後まで頑張られましたね」といった利用者さんに合わせた言葉をかけられています。また、耳かきが好きな方には耳かきをしながら口腔ケアをするなど、それぞれがリラックスできる環境を整えてくださっています。このような細やかなサポートにより、歯科受診が苦手な利用者さんでも快適に過ごせて、ケアを受けることができています。もうひとつ紹介したいのは、訪問歯科の方から職員へ助言をもらっていることです。例えば「全体的にきれいに磨かれていましたが、歯と歯の間に少し汚れが残っていたため、歯間ブラシで清掃しました。現在のお口の状態を保てるように今後もケアを続けていきましょう。」といった具体的なアドバイスを日常のケアに携わる職員にももらっています。

利用者さんの特性や病状によっては訪問診療が困難な場合もあり、その時は広大歯科との連携によってスムーズに通院できるようになっています。広大歯科までは片道1時間はかかりますが、引率職員との外出にもなりドライブを楽しんでいる様子もあります。広大歯科での治療が完了した後は、再び訪問歯科での診療に戻る流れとなっており、安心の治療体制が整っています。

(部長 浜先 ひろこ)

突撃!! ナタリー歯科さんに聞いてみた

Q 1 約5年間のわたり、訪問診療に来ていただいてますが、初めのころと現在では、受診している利用者さんに変化はありますか?

→ 訪問診療を始めたころは歯肉が腫れて痛みが出たりしていましたが、最近はほとんどなく、以前と比べ口腔ケアの状態が良い水準で安定しているように感じます。また、訪問歯科に慣れていただいたおかげで、機械による歯石の除去や治療など昔は拒否のあった処置も出来るようになり、処置の幅が広がってきています。

Q 2 コミュニケーションやサポートの仕方など、いろいろと工夫をしてくださっているように感じるのですが、特に心がけていることがあれば教えてください。

→ 負担をかけすぎないように、歯科受診に拒否感を覚えないう心がけています。また、体幹の弱い方など、転倒や誤嚥などの事故が起こらないよう気を付けています。

Q 3 利用者さんとの印象的なエピソードがありましたら、教えてください。

→ 治療が終わった後、私共の靴紐がほどけていることが多々ありとても微笑ましく感じています。どんな思いのかな〜と考える時間も出来ました。ほどけていないと何だか寂しい感じもします。



訪問歯科のドクターの靴。玄関で上履きに履き替えて残された外靴の靴ひもがほどけている証拠写真。むしろほどけていない方が稀?



入所部日帰り旅行 呉・音頭 【おさんぽクルーズ】

2グループに分かれての入所部日帰り旅行の第一便で7/7(月)に呉市へ行って参りました。6月に梅雨明けして7月に入りどんどん気温も上昇してきている中、猛暑の中での旅行となりました。呉・音戸までの長時間のバスドライブ。皆さん楽しそうに呉海軍の街並みを車窓から眺めていました。音戸文化会館では潮風にあたりながら好みのジュースを購入して一休憩。次に待ちに待った昼食。ご当地料理の海軍定食を皆さんあつという間にペロリと食べられていました。クジラカツもあり懐かしかった利用者もいたのではないでしょう。クルーズではフェリーに乗り波に揺られてガイドさんの説明を聞きながら楽しんでいました。甲板にも出ましたが、暑すぎたので長いこと甲板に出ているのが難しかったのが残念でした。日帰りで限られた時間ではありましたが、利用者の皆さんとゆっくりとした時間を過ごすことができ、普段と違う表情などを見る事が出来たことに感謝いたします。(生活支援員 検校 司)



かぶとむし



かぶとむし



かぶとむし

字：石田亮

【カブトムシと】

カブトムシと写真撮影をしました。7月に入ってから、友和の里のたい肥箱で育ったカブトムシの羽化が始まりました。カブトムシの足のひっかき力は強く、手に持つと痛いことも！なんとか興味をもってもらうために、畑のキュウリを使って直接持たなくてもよいように工夫をしました。キュウリにのせたカブトムシを持ってハイチーズ！



絵：高橋 陽介

トビックス

フレンドホーム七夕飾り 【ほしにねがいを】

7/5（土）フレンドホームの利用者さんと、七夕飾りづくりと短冊に願いごとを書きました。みなさん短冊に思い思いの願いごとを書かれ、笹に短冊を飾りました。『いいことあればいいなあ』と呟きながら願いを込められていました。また、『ハンバーガー！』など食欲旺盛な利用者さんも。猛暑が続きますが、みんなでこの夏を乗り越えていきます。※5月に植えたトマトの苗が、こんなに大きくなりました。毎日の水やりと収穫が楽しみです。

（生活支援員 木村 信広）



通所部土曜開所日 【フライングディスク】

7月の開所日はフライングディスクを行いました。最初は皆さん少し遠慮がちでしたが、誰かが投げ始めると「じゃあ僕もやってみる！」「私もやりたい！」と次々と投げ始められました。通所ホール内でエリアを分けて「的当て」や「カゴに入れるチャレンジ」など、色々な楽しみ方を準備すると、利用者ごとに自分が楽しめるエリアでのフライングディスクを楽しまれました。投げたたびに歓声が上がリ会場は終始穏やかな雰囲気でした。体験利用で来られた方も一緒に参加され楽しまれました。皆さん身体を動かして笑顔いっぱいになるときとなりました。来月は「夏祭り」を行う予定となっております。たくさんの方の参加をお待ちしております。

（生活支援員 井場 孝行）



入所部感染対策研修 【けんしゅうほうこく】

入所部では6月26日（木）に廿日市西部保健所の職員2名を講師としてお招きし、感染対応研修を実施しました。友和の里が策定している3つの把握や感染症マニュアルの再確認も行いました。予防着の正しい着脱方法や嘔吐処理の手順など、職員間で対応方法の統一を図ることができ、感染症への意識向上に繋がることが、有意義な時間となりました。研修で学んだことを、これからの業務やマニュアルの見直しにしっかり活かしていきたいと思っています。

（生活支援員 中原 瞬）



8 ゆうわ さとぎようじよてい 友和の里行事予定

- 8/1金 アート活動 (入所)
8/6水 休所日 職員研修
8/8金 夕食会 (GHFH)
8/8木 工賃支払日 (通所 / 入所)
8/12水 体重測定 (入所)
8/13水・14木 夏季休業日
8/15金 アート活動 (入所)
8/15金 衛生の日 (通所)
8/16土 土曜日開所日 (通所・入所)
8/18月 お楽しみ会 (入所)
8/20水 入所夏祭り (入所)
8/23土 岩組夏祭り (GHFH)
8/26火 夕食会 (入所)
8/31日 訪問美容 (GHFH)

水曜日移動スーパー

					1	2
					アート	
3	4	5	6	7	8	9
					ごうちん	
					ゆうしよくかい	
10	11	12	13	14	15	16
		12 たいじゅうそくてい	13・14 おやすみ		アート	かいしよび
					えいせいひ	かいしよび
17	18	19	20	21	22	23
	18 おたのしみかい		20 にゅうしよなつまつり			23 いわぐみなつまつり
			ぎようじしよく			
24	25	26	27	28	29	30/31
		ゆうしよくかい				31 ほうもんびよう

GHFH グループホーム

にゅうしよ (入所)

つうしよ (通所)

アーチェリー

寄付のご紹介

入所部保護者会さま

たくさんのご寄付を賜り
厚く御礼申し上げます



夏まつり

今月のおたのしみ
ー入所部夏まつりー
8月20日(水)に入所部生活介護夏まつりを開催します!! 日ごろの生活の様子を知って頂きながら、ご家族、利用者、職員を含めた触れあいをねらいとしています。生活の展示をしたり、アート活動の作品を展示します。またポップ・ステップ・ジャンプの各グループそれぞれが企画した屋台が出店します。屋台は射的・ジュース・わたがしの3つを楽しむことができます。お楽しみに。
(主任 甲斐真由美)

今月のアート

コミュニティハウスでは利用者さんの作品を展示しています。額装して飾ってあってどんな風に描かれたかなどキャプションと一緒に御覧いただけます。定期的に入れ替えを行っています。詳しくは事務までお問い合わせください。(0829-74-2157)

おまけ info.



コミュニティハウス (廿日市市友田 644-5)